

令和7年9月25日

港湾局産業港湾課

CNP認証（コンテナターミナル）の**初**認証 ～コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組レベルを評価～

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」に基づき、申請のあった5つのターミナルに対して、本制度の創設後初となる認証を行いました。

CNP認証（コンテナターミナル）の更なる普及により、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることから、ポートセールスでの活用とともに、CNP形成に向けたターミナル間での競争を期待しています。

1. 「CNP認証（コンテナターミナル）」とは

- ・国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しています。
- ・CNPの形成を推進する取組の一つとして、令和7年6月、コンテナターミナルにおける脱炭素化に向けた取組の実施状況をレベル1～5までの多段階で評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」の運用を開始しました。

2. 初認証ターミナルの概要

令和7年6月30日（月）～令和7年7月4日（金）の期間に申請を受け付けた以下5ターミナルを認証しました。

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・博多港アイランドシティコンテナターミナル | レベル5＋ |
| ・川崎港コンテナターミナル | レベル4＋ |
| ・名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル | レベル3＋＋ |
| ・大阪港南港コンテナターミナル C-1/4 | レベル2＋ |
| ・高松港コンテナターミナル | レベル1 |

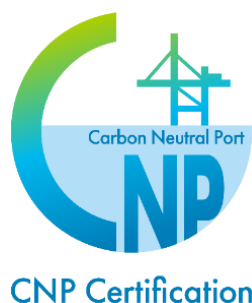
※認証レベルの上位順に記載

※詳細は別紙参照

※後日、所轄の地方整備局において認証書交付式を行いますので、別途お知らせします。

※認証ターミナルの情報についてはCNP認証ポータルサイト（下記QRコード）にて公表しております。

【問い合わせ先】 港湾局 産業港湾課 CNP推進室 末宗、富田
代表：03-5253-8111（内線：46-468）、03-5253-8672（直通）
メールアドレス：hgt-cnp-certificate@gbx.mlit.go.jp



港・ターミナル名	認証レベル	各レベル取得要件	ターミナルの 取組状況	推奨項目(+)の詳細
博多港 アイランドシティコンテナターミナル	レベル 5 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・L N G バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・L E D 照明の導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
川崎港 コンテナターミナル	レベル 4 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・低・脱炭素化された電力の導入
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率80%以上)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率80%以上)	導入率89%	
		・L E D 照明の導入 (導入率80%以上)	導入率47%(*1)	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
名古屋港 鍋田ふ頭コンテナターミナル	レベル 3 + +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・電動トップリフターの導入 ・L N G バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率50%以上)	導入率63%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率50%以上)	導入率75%	
		・L E D 照明の導入 (導入率50%以上)	導入率100%	
大阪港 南港コンテナターミナル C-1/4	レベル 2 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・カーボンオフセットの取組実施
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率10%以上)	導入率88%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率10%以上)	導入率74%	
		・L E D 照明の導入 (導入率10%以上)	導入率48%	
高松港 コンテナターミナル	レベル 1	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	-

(*1) ターミナルに再生可能エネルギー100%の脱炭素電力が導入されているため、要求事項を満たすものとして評価。